



レポート:  
**Google Workspace と  
Microsoft 365**  
**ビジネスへの影響**

2022 年 3 月

## 現在の情勢

生産性向上ソフトウェア ソリューションには、組織の働き方を左右する力があります。この 2 年間で、チームでの生産性向上ソフトウェアを使ったコラボレーションのあり方に関するほぼすべての側面が様変わりし、大きく分けて 2 つのトレンドが生まれました。

### リモートワーク、ハイブリッド ワーク

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の流行により、世界各地で出社が制限され、職場環境は一変しました。デスクワーカーは、在宅勤務のポリシーと手順にすぐに適応しました。リモートワークはスタンダードになり、パンデミック終焉後もハイブリッドや完全在宅での勤務スタイルは続していくと考えられます。

### 大量自主退職時代

2021 年は離職者が増加しました。デスクワーカーに限って言えば、リモートワークの世界でコミュニケーションに関する不満が募っています。また、自宅が職場となったことで、ワークライフバランスの定義が難しくなっています。燃え尽き症候群が増加し、多くのデスクワーカーが自分の職業を根本的に見つめ直すようになりました。

ハイブリッドやリモートで働く人が増えたことで、どこからでもコラボレーション、コミュニケーション、職場文化の構築を可能にする生産性向上ソフトウェアの必要性がクローズアップされています。調査データによると、Google Workspace は、新しい働き方を採用する組織をサポートするうえできわめて重要な役割を果たすと考えられます。

## 調査の背景

Google は Quadrant Strategies に依頼して、Google Workspace または Office 365 のいずれかを導入している企業を対象にその使用経験を調査、比較しました。これには、Microsoft 365 と Google Workspace の特定の機能を比較するのではなく、それぞれの組織の生産性向上ソリューションの使用についてユーザーの意見を記録するという方法をとりました。この比較を定量的調査によって行うことで、結果に対する統計的信頼性を確保しています。

真の比較を行うため、Microsoft 365 のみを利用しているグループと Google Workspace を利用しているグループの、2 つの回答者グループのバランスを慎重に調整しました。調整の目的は、企業規模、業種、国、年齢、管理職と非管理職の比率、企業内の職種や部門など、結果に影響を与えるすべての特性において、各グループに比較可能なサンプルが確実に存在することです。このように比較可能なサンプルが存在することで、結果の差がサンプルに起因するものではなく、生産性向上ソリューションの経験によるものであることが保証されます。調査回答企業のプロフィールの詳細は、付録 B に記載しています。



## 主な調査結果

### 文化の変革

Google Workspace は、コラボレーション文化を生み イノベーションを促進するのに役立ちます。

### ネットワーク効果

Google Workspace を導入した企業は、Microsoft 365 を導入した企業よりも高い割合で、生産性の向上、イノベーション、収益の増加を報告する傾向があります。

### 移行の裏付け

Google Workspace への移行ユーザー\*は、Microsoft 365 への移行ユーザー\*よりも高い割合で、移行後のソリューションがコラボレーションとコミュニケーションに与える影響について肯定的な見方をしています。

### モバイルワーク

パソコン以外のデバイスで仕事ができる ことは、リモートワークやハイブリッド ワークが増えている状況において リモートワークやデスクレス ワークの生産性向上 を実現できるという点で、Google Workspace の重要な差別化要素 となっています。

### 従業員に浸透

Google Workspace への移行ユーザーは、イノベーション、生産性、コラボレーションの向上を報告しています。

### 使うほど好きになる

Google Workspace のツールをより多く使用しているユーザーほど、このソリューションに対する好感度は高くなっていますまた、Microsoft 365 ユーザーよりも高い割合で、統合や導入がスムーズだったと回答しています。

\*移行ユーザーとは、在職中に別のソリューションからGoogle Workspace または Microsoft 365 に切り替えたユーザーのことです



## コラボレーション文化を創造

Google Workspace はコラボレーション効果を促進し、情報共有とイノベーションにプラスの影響を与えます。

Google Workspace を活用したコラボレーションが増えることで、イノベーションにも目覚ましい増加が見られると報告されています。



### イノベーション

**82%** の Google Workspace への移行ユーザー\*が、移行後に「チームがより革新的になった」としている

対して同じ回答をしたのは  
**47%** の Microsoft 365 への移行ユーザー\*<sup>1</sup>

こうしたメリットにより、従業員はより効率的に仕事ができるようになっています。



### プラスの影響

Google 58%

Microsoft 29%

[Google Workspace / Microsoft 365] は大きくプラスに作用した、と回答した割合

ドキュメントでの情報共有やリアルタイムの共同作成が容易になることで、より広範なコラボレーション文化が促進されます。

Google Workspace は、コラボレーションに関する属性において、常に Microsoft 365 を上回っています。Google Workspace のユーザーは、リアルタイムで共同作業することがチームの標準となっているという意見に同意する傾向があります。

Google / Microsoft のおかげで必要な情報をチームメンバーから迅速かつ容易に得られるようになつた<sup>3</sup>。

Google  
ユーザー

Microsoft  
ユーザー

56%

43%

ドキュメントを作成する際は、Google / Microsoft を使用してリアルタイムで共同作業することがチームの標準となっている<sup>4</sup>。

53%

34%

Google Workspace の 1 ドキュメントあたりの平均共同編集者数は、Microsoft 365 の約 2 倍です。

### 1 ドキュメントあたりの平均共同編集者数<sup>5</sup>

13.4 人

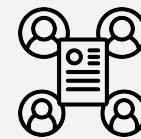


Google Workspace

7.2 人



Microsoft 365



\*在職中に別のソリューションからGoogle Workspace または Microsoft 365 に切り替えたユーザー



# ネットワーク効果

Google Workspace がもたらすプラスの影響は、あらゆる規模の企業で見られますが、中でも大企業のコミュニケーションと生産性に大きな影響があったと報告されています。大企業における Google への移行ユーザーは、大企業における Microsoft への移行ユーザーよりも高い割合で、イノベーションと収益増加を報告する傾向があります。

## コミュニケーション

Google Workspace ユーザーは Microsoft 365 ユーザーよりも高い割合で、コミュニケーションが促進されたと回答しています。さらに、Google の場合、企業規模が大きくなるほどコミュニケーションの影響も大きくなります。

チームメンバーは、Google / Microsoft で使用しているコミュニケーション プラットフォームのおかげで、有意義な会話がしやすいと感じている<sup>6</sup>。

「とてもそう思う」と回答した割合

Google ユーザー Microsoft ユーザー



小規模企業

43%

27%



中規模企業

48%

45%



大企業

54%

40%

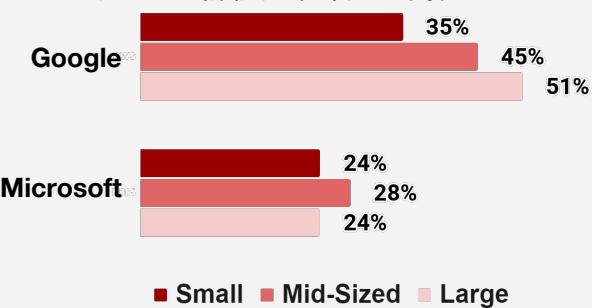
## 生産性

Google Workspace によって生み出されるコミュニケーション環境が、いくばくかの生産性向上を実現

企業規模が大きくなるほど、Google Workspace がチームの生産性に与えるプラスの影響も大きくなっています。生産性が向上したという回答は、Microsoft 365 を使用している小規模企業よりも Google Workspace を使用している小規模企業の割合が高くなっていますが、Google Workspace を使用している大企業と比較すると低めです。

### チームの生産性を数値で評価

「5 - とても生産性が高い」  
(1~5 で評価)と回答した割合



Google Workspace を導入した大企業は、Microsoft 365 を導入した大企業よりも高い割合で、イノベーションと収益増加を報告する傾向があります。



## イノベーション

84% の Google への移行ユーザー\*(大企業)が、ソフトウェアを切り替えてから会社が「より革新的になった」としている

対して同じ回答をしたのは

42% の Microsoft への移行ユーザー\*(大企業)<sup>8</sup>



## 収益増加

68% の Google への移行ユーザー\*(大企業)が、ソフトウェアを切り替えてから会社の収益が増加したとしている

対して同じ回答をしたのは

28% の Microsoft への移行ユーザー\*(大企業)<sup>9</sup>

\*在職中に別のソリューションからGoogle Workspace または Microsoft 365 に切り替えたユーザー



## 移行の裏付け

ユーザーの共同作業のあり方にプラスの影響を与えたという回答の割合が最も高いのは、Google Workspace への移行ユーザー\*です。

コミュニケーションとコラボレーションに関する属性では、Google Workspace の標準ユーザーと比較しても、Google への移行ユーザー\*の満足度が最も高くなっています。

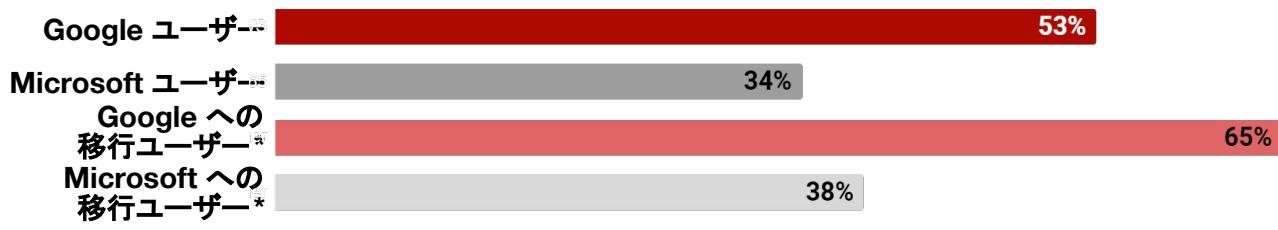
### コミュニケーション

[Google / Microsoft] のコミュニケーションプラットフォームのおかげで、  
有意義な会話がしやすい<sup>10</sup>。  
「とてもそう思う」と回答した割合



### コラボレーション

ドキュメントを作成する際は、Google Workspace / Microsoft 365 を使用して  
リアルタイムで共同作業することがチームの標準となっている<sup>1</sup>。  
「とてもそう思う」と回答した割合



### 移行ユーザーの視点

移行ユーザーは、複数の生産性向上スイートのもとで現在の役割を経験しているため、視点が独特です。Google Workspace への移行ユーザー(在職中に Google Workspace を採用した企業)は総じて、コラボレーションにプラスの影響があると回答しています。





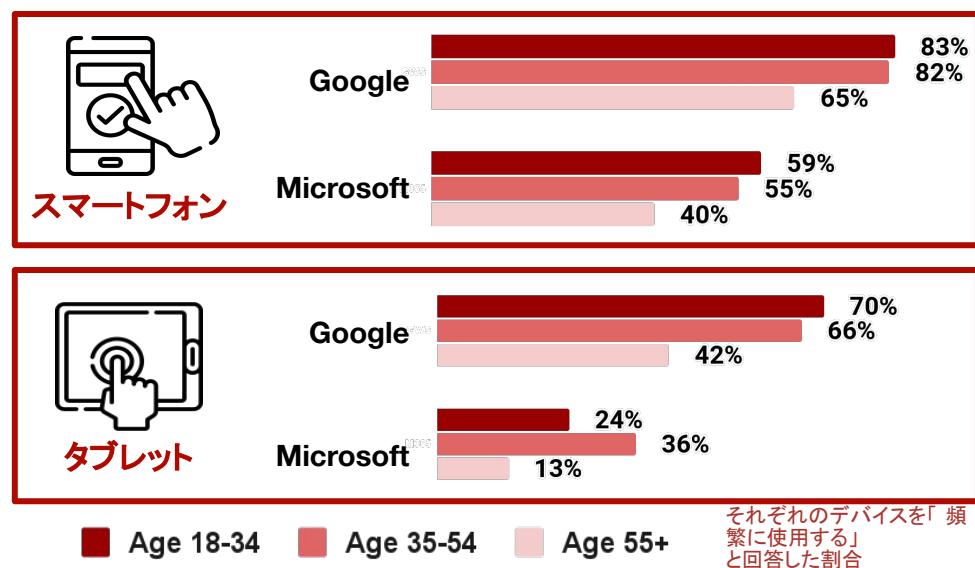
## モバイルワーク

リモートワークやハイブリッドワークに移行する従業員が増えるにつれ、パソコン以外のデバイスで生産性を上げる能力の重要性が高まっています。当社のデータによるとGoogle Workspaceは Microsoft 365 よりも生産性の高いモバイルワークおよびリモートワーク体験を提供できます。

Google Workspace ユーザーの 52% が、リモートでのチーム作業が「とても生産的」であると回答しているのに対し、Microsoft 365 ユーザーでは 44% にとどまっています<sup>12</sup>。Google Workspace ユーザーは、あらゆる年齢層で、Microsoft 365 ユーザーよりも頻繁にスマートフォンやタブレットから作業を行っています。Google Workspace を使ってどこにいてもモバイルデバイスで仕事ができるようになることで、リモートワークやデスクレスワークの生産性を高めることができます。

Google Workspace ユーザーは Microsoft 365 ユーザーよりも高い割合で、スマートフォンやタブレットで仕事をしていると回答しています<sup>13</sup>。

あらゆる年代の Google ユーザーが、モバイル デバイスやタブレットで仕事をしていると報告しています。



Google Workspace ユーザーは、Microsoft 365 のユーザーよりも圧倒的にモバイル利用率が高く<sup>14</sup>、Google ユーザーのほうが高い割合で、今回質問したすべてのタスクを日常的にスマートフォンやタブレットで行う、と回答しました。この差は、スプレッドシートの編集やフィードバックの提供など、より複雑なタスクになると特に顕著になります。



	Google ユーザー	Microsoft ユーザー
メールのチェック	71%	65%
メールへの返信	65%	59%
ドキュメントのレビュー	57%	37%
会議のスケジュール設定	54%	43%
会議への参加	54%	47%
スプレッドシートのレビュー	50%	30%
ドキュメントの編集	49%	28%
スプレッドシートの編集	44%	25%
他の従業員へのフィードバック	42%	29%



## 従業員に浸透

Google Workspace への移行は、あらゆる年齢層で生産性とイノベーションにプラスの影響を与えており、特に若手(18~34 歳)従業員に顕著です。

あらゆる年齢層の従業員が、Google Workspace への移行後にチームがより革新的になったと回答し、移行ユーザー\*はより多くの時間の節約になったと報告している

あらゆる年齢層の従業員が、働き方に対する Google のプラスの影響を実感している

### 組織に対する Google Workspace の影響



#### 生産性

70% の比較的若い Google への移行ユーザー\*が、Google Workspace は「時間の節約になり、仕事に集中できる」ことに強く同意している

対して同じ回答をしたのは

52% の比較的若い Microsoft への移行ユーザー\*<sup>15</sup>



#### イノベーション

82% の比較的若い Google への移行ユーザー\*が、Google Workspace を導入してから「チームがより革新的になった」としている

対して同じ回答をしたのは

66% の比較的若い Microsoft への移行ユーザー\*<sup>16</sup>

こうした傾向は、年配の従業員にも当てはまります。

あなたの働き方は [Google / Microsoft] によって影響を受けましたか<sup>17</sup>。

大きくプラスに作用した、と回答した割合

18~34 歳

35~54 歳

55 歳以上

52%  
の Microsoft  
への移行  
ユーザー\*

66%  
の Google  
への移行  
ユーザー\*

29%  
の Microsoft  
への移行  
ユーザー\*

51%  
の Google  
への移行  
ユーザー\*

17%  
の Microsoft  
への移行  
ユーザー\*

57%  
の Google  
への移行  
ユーザー\*

生産性向上ソフトウェアと働き方について、プラスの影響を最も大きく受けているのは若手従業員です。これは Microsoft と Google のユーザーに共通しています。Google Workspace によるプラスの影響が最も大きいのは若手従業員ですが、僅差で年配従業員が続きます。

\*在職中に別のソリューションからGoogle Workspace または Microsoft 365 に切り替えたユーザー



## 使うほど好きになる

Google Workspace のツールをより多く使用しているユーザーほど、このソリューションに対する好感度は高くなっています。また、Google Workspace ユーザーは、Microsoft 365 ユーザーよりも高い割合で、統合や導入がスムーズだったと回答しています。

### 使う → 好む

ユーザーの Google Workspace ツールへの信頼が高まるにつれて、Google Workspace への好感度も高まっています<sup>18</sup>。

41%

Google Workspace のサービスカテゴリを 1 つだけ利用しているユーザーのうち、職場で Google Workspace を使いたいと考えているのは 41%

53%

2 つまたは 3 つの Google Workspace サービスカテゴリを使用するユーザーでは、これが 53% まで増加する

68%

また、4 つの Workspace サービスカテゴリを利用するユーザーのうち 68% が、仕事で Google Workspace を使いたいと回答している



### 実装

#### 統合がスムーズ

1

Google Workspace は既存のソフトウェアとの併用が可能で、他のソフトウェアソリューション (Microsoft 365 を含む) にうまく溶け込みます。Google Workspace ユーザーは、Microsoft 365 ユーザーよりも高い割合で、このソリューションが他のソフトウェアとの統合や連携が容易であると報告しています。

48%  
Google  
ユーザー

対

25%  
Microsoft  
ユーザー

そのソフトウェア ソリューションと、チームで使用している他のソフトウェアとの連携が「とてもうまくいく」と回答した割合<sup>19</sup>。

2

#### 導入が容易

Google Workspace への移行ユーザー\*の 50% が、1 か月以内にチームが Google Workspace を快適に使えるようになったと回答しています。

50%  
Google  
への移行ユーザー

対

37%  
Microsoft への  
移行ユーザー

1 か月以内にチームが Google Workspace を快適に使えるようになったと回答した割合<sup>20</sup>。

\*在職中に別のソリューションから Google Workspace または Microsoft 365 に切り替えたユーザー

# 付録 A: 国別のユーザーへの影響

## 米国のユーザーの調査結果

米国のユーザーは、フランスや英国のユーザーよりも生産性向上ソフトウェアを肯定的に捉える傾向があります。

### 米国の Google Workspace ユーザー:

 60% が「[Google Workspace のおかげで] チームメンバーは必要な情報を社内の他のチームから迅速かつ容易に得られるようになった」ことに強く同意しています<sup>21</sup>。

 64% が、チームで Google Workspace を使う連携作業が「とてもうまくいっている」と回答しています<sup>22</sup>。

## 英国のユーザーの調査結果

英国では、Google Workspace ユーザーが抱く生産性向上ソフトウェアのセキュリティと統合に対する信頼感の方が、Microsoft 365 ユーザーのそれよりも高くなっています。

### 英国のユーザー:

 Google Workspace ユーザーの 60% が、自分のドキュメント、ファイル、会話が「とても安全」と感じていると回答しているのに対し、Microsoft 365 ユーザーは 47% に留まっています<sup>23</sup>。

 Google Workspace ユーザーの 42% が、この生産性向上ソフトウェアと他のソフトウェアの連携が「とてもうまくいっている」と感じているのに対し、Microsoft 365 ユーザーは 12% に留まっています<sup>24</sup>。

## フランスのユーザーの調査結果

フランスのユーザーは、Google Workspace への移行後、情報へのアクセスが格段にシンプルになったと感じています。

### フランスのユーザー:

 Google Workspace への移行ユーザー\*の 76% が情報を見つけやすくなったと回答したのに対し、Microsoft 365 への移行ユーザーは 43% に留まっています<sup>25</sup>。

 Google Workspace への移行ユーザー\*の 62% が、移行後に検索によるファイルへのアクセスが容易になったと回答したのに対し、Microsoft 365 への移行ユーザーでは 38% に留まっています<sup>26</sup>。

\*在職中に別のソリューションからGoogle Workspace または Microsoft 365 に切り替えたユーザー

## 付録 A: 国別のユーザーへの影響(続き)

### インドのユーザーの調査結果

インドの Google Workspace ユーザーは、生産性向上ソフトウェアをとても肯定的に捉える傾向があり、モバイルでは Microsoft 365 ユーザーよりも大幅に生産的です。

#### インドのユーザー:



Google Workspace ユーザーの 74% が、Google Workspace を使ったチームの連携が「とてもうまくいっている」と感じています<sup>27</sup>。



Google Workspace ユーザーの 79% がリモートでも「とても生産的」であると回答しているのに対し、Microsoft 365 では 52% に留まっています<sup>28</sup>。

### ブラジルのユーザーの調査結果

ブラジルの Google Workspace ユーザーは、Microsoft 365 ユーザーよりもモバイルデバイスで大量のタスクを完了する傾向が非常に強くなっています。

#### ブラジルのユーザー:



Google Workspace ユーザーの 67% が日常的にスマートフォンやタブレットから会議に参加しているのに対し、Microsoft 365 ユーザーでは 53% に留まっています<sup>29</sup>。



64% が「頻繁に」スマートフォンで作業をしていると回答しているのに対し、Microsoft 365 ユーザーは 44% に留まっています<sup>30</sup>。

### 日本のユーザーの調査結果

コラボレーションは日本の Google Workspace ユーザーにはあまり普及しておらず、コラボレーションが標準的な慣行であるとする割合は小さくなっています。

#### 日本のユーザー:



Google Workspace を使用してリアルタイムで共同作業することがチームの標準となっていることに強く同意する人はわずか 22% です<sup>31</sup>。



68% が、Google Workspace を使って「1 つのドキュメントを一人で作成し、次の人に渡す」形で仕事をしていると報告しています<sup>32</sup>。

## 付録 B: 調査手法

今回の調査は、Quadrant Strategies が Google から委託を受けて実施したものです。2021 年 11 月から 12 月にかけて 6 か国のデスクワーカー 1,400 名を対象に実施した調査が本レポートの基礎となっています。調査参加者は合計で 104 問に回答しました。

(下の表に概要を示す) 広範囲にわたる特性を持つサンプルを半分ずつに分けて照合することで、サンプルの差異が結果に影響を及ぼさないようにしました。95% 信頼区間で、許容誤差は Google Workspace ユーザーについては ±3.7%、Microsoft 365 ユーザーについては ±3.7% です。

カテゴリ		Google Workspace ユーザー	Microsoft 365 ユーザー
会社の規模	小(従業員数5~99人)	19%	10%
	中(従業員数100~999人)	41%	32%
	大(従業員数1,000人以上)	40%	59%
管理職	管理職	88%	66%
	非管理職	11%	33%
	その他	1%	1%
年齢	18~24 歳	7%	6%
	25~34 歳	41%	27%
	35~44 歳	31%	28%
	45~54 歳	11%	29%
	55~64 歳	9%	9%
	65 歳以上	1%	1%
業種	テクノロジー+ メディア	26%	20%
	銀行 + 金融 + 保険	16%	12%
	コンサルティング + 法務	5%	5%
	ヘルスケア	6%	8%
	不動産	4%	4%
	製造 + 自動車 + 運輸	18%	17%
	小売 + 食料、飲料	10%	8%
	教育 + 行政 + 非営利	11%	13%
	工業 + エネルギー + 通信	12%	12%
	その他	10%	10%
部門	総務	14%	8%
	管理	19%	8%
	業務	13%	17%
	財務	14%	8%
	クライアントサービス	8%	6%
	営業	10%	6%
	IT	38%	41%
	リサーチ	6%	4%
	法務	6%	3%
	人事	12%	5%
	マーケティング、広報	7%	4%
	エンジニアリング	8%	8%
	その他	4%	6%
国	米国	N=200	N=200
	英国	N=100	N=100
	フランス	N=100	N=100
	インド	N=100	N=100
	日本	N=100	N=100
	ブラジル	N=100	N=100

それぞれのグループにおいて、在職中に別の生産性向上スイートから Microsoft 365 または Google Workspace に切り替えたユーザーを移行ユーザーとしています Google Workspace ユーザーの 34% (240 人)、Microsoft 365 ユーザーの 77% (542 人) がこの移行ユーザーの定義に該当し、移行に伴う経験についての質問を受けました。移行ユーザーに関する質問については 95% 信頼区間で、許容誤差は Google Workspace への移行ユーザーで ±6.33%、Microsoft 365 への移行ユーザーで ±4.21% です。

# 付録 C: 卷末注

## ページ 4:

1. Q67: [Google Workspace / Microsoft 365] の導入以降、あなたのチームはどのようになりましたか。
  - a. 革新的になった
  - b. 革新的でなくなった
  - c. 変わっていない
2. Q72: あなたの働き方は [Google Workspace / Microsoft 365] によって影響を受けましたか。
  - a. 大きくマイナスに作用した
  - b. ややマイナスに作用した
  - c. 影響はない
  - d. ややプラスに作用した
  - e. 大きくプラスに作用した
3. Q23a: 次の記述について、どう思われますか。「[Google Workspace / Microsoft 365] のおかげで必要な情報をチームメンバーから迅速かつ容易に得られるようになった」
  - a. まったくそう思わない
  - b. あまりそう思わない
  - c. ややそう思う
  - d. とてもそう思う
4. Q21: 次の記述について、どう思われますか。「ドキュメントを作成する際は、[Google Workspace / Microsoft 365] を使用してリアルタイムで共同作業することがチームの標準となっている」
  - a. まったくそう思わない
  - b. あまりそう思わない
  - c. ややそう思う
  - d. とてもそう思う
5. Q12: 1 つのドキュメントが完成するまでに、平均して何人と共同作業をしていますか。(数値で自由に入力)

## ページ 5:

6. Q31c: 次の記述について、どう思われますか。「チームメンバーは、[Google Workspace / Microsoft 365] で使用しているコミュニケーション プラットフォームのおかげで、有意義な会話がしやすいと感じている」
  - a. まったくそう思わない
  - b. あまりそう思わない
  - c. ややそう思う
  - d. とてもそう思う
7. Q90: あなたのチームの生産性を 5 段階で評価してください。
  - a. 5 - とても生産性が高い
  - b. 4
  - c. 3 - やや生産性が高い
  - d. 2
  - e. 1 - 生産性が低い
8. Q67: [Google Workspace / Microsoft 365] の導入以降、あなたのチームはどのようになりましたか。
  - a. 革新的になった
  - b. 革新的でなくなった
  - c. 変わっていない
9. Q68: [Google Workspace / Microsoft 365] の導入以降、会社の収益に変化はありましたか。
  - a. 収益が増加した
  - b. 収益は変わっていない
  - c. 収益が減少した
  - d. わからない

# 付録 C: 卷末注

## ページ 6:

10. Q31c: 次の記述について、どう思われますか。「チームメンバーは、[Google Workspace / Microsoft 365]で使用しているコミュニケーション プラットフォームのおかげで、有意義な会話がしやすいと感じている」
- まったくそう思わない
  - あまりそう思わない
  - ややそう思う
  - とてもそう思う
11. Q21: 次の記述について、どう思われますか。「ドキュメントを作成する際は、[Google Workspace / Microsoft 365]を使用してリアルタイムで共同作業することがチームの標準となっている」
- まったくそう思わない
  - あまりそう思わない
  - ややそう思う
  - とてもそう思う

## ページ 7:

12. Q42: [Google Workspace / Microsoft 365] のツールを使ってリモートワークをする期間、チームはどの程度生産的ですか。
- リモートワークをしていない
  - まったく生産的ではない
  - あまり生産的ではない
  - やや生産的
  - とても生産的
13. Q41: 次のデバイスをどのくらいの頻度で仕事に使用していますか。
- スマートフォン
  - タブレット
  - パソコン
    - 頻繁に使用する
    - わりと使用する
    - あまり使用しない
    - まったく使用しない
14. Q40: 次のうちどの作業をスマートフォンやタブレットで日常的に行ってていますか。
- メールのチェック
  - メールへの返信
  - ドキュメントのレビュー
  - スプレッドシートのレビュー
  - ドキュメントの編集
  - スプレッドシートの編集
  - 他の従業員へのフィードバック
  - 会議のスケジュール設定
  - 会議への参加
  - 上記のどれでもない

# 付録 C: 卷末注

## ページ 8:

15. Q65: 次の記述について、どう思われますか。「[Google Workspace / Microsoft 365] を使うことで、時間を節約し、仕事に集中できる」
  - a. まったくそう思わない
  - b. あまりそう思わない
  - c. ややそう思う
  - d. とてもそう思う
16. Q67: [Google Workspace / Microsoft 365] の導入以降、あなたのチームはどのようになりましたか。
  - a. 革新的になった
  - b. 革新的でなくなった
  - c. 変わっていない
17. Q72: あなたの働き方は [Google Workspace / Microsoft 365] によって影響を受けましたか。
  - a. 大きくマイナスに作用した
  - b. ややマイナスに作用した
  - c. 影響はない
  - d. ややプラスに作用した
  - e. 大きくプラスに作用した

## ページ 9:

18. Q76: 選べるとしたら、仕事ではどちらを使用したいですか。
  - a. Microsoft 365
  - b. Google Workspace
19. Q56: [Google Workspace / Microsoft 365] と、チームで使用している他のソフトウェア(CRM、Slack など)の連携は、どの程度うまくいっていると感じますか。
  - a. うまくいっていない
  - b. あまりうまくいっていない
  - c. ある程度うまくいっている
  - d. とてもうまくいっている
20. Q70: チームが [Google Workspace / Microsoft 365] を快適に使えるようになるまでに、どのくらいの期間がかかりましたか。
  - a. すぐ
  - b. 1か月以内
  - c. 1~3か月
  - d. 3~5か月
  - e. 6か月~1年
  - f. 1~2年
  - g. 2年超
  - h. まだ [Google Workspace / Microsoft 365] を完全には使いこなせていない

# 付録 C: 卷末注

ページ 10:

21. Q22a: 次の記述について、どう思われますか。「[Google Workspace / Microsoft 365] のおかげでチームメンバーは必要な情報を社内の他のチームから迅速かつ容易に得られるようになった」  
a. まったくそう思わない  
b. あまりそう思わない  
c. ややそう思う  
d. とてもそう思う
22. Q36: チームで [Google Workspace / Microsoft 365] を使う連携作業はどの程度うまくいっていると感じますか。  
a. とてもうまくいっている  
b. ある程度うまくいっている  
c. あまりうまくいっていない  
d. まったくうまくいっていない
23. Q51: [Google Workspace / Microsoft 365] 上のドキュメント、ファイル、会話はどの程度安全だと感じますか。  
a. まったく安全ではない  
b. あまり安全ではない  
c. ある程度安全  
d. とても安全
24. Q56: [Google Workspace / Microsoft 365] と、チームで使用している他のソフトウェア(CRM、Slack など)の連携は、どの程度うまくいっていると感じますか。  
a. うまくいっていない  
b. あまりうまくいっていない  
c. ある程度うまくいっている  
d. とてもうまくいっている
25. Q61: 次の記述について、どう思われますか。「[Google Workspace / Microsoft 365] を導入してから情報を見つけやすくなった」  
a. そう思う  
b. そう思わない  
c. どちらとも言えない
26. Q57: [Google Workspace / Microsoft 365] の導入以降、検索によるファイルへのアクセスは、どのようになりましたか。  
a. シンプルになった  
b. 複雑になった  
c. 変わっていない

# 付録 C: 卷末注

ページ 11:

27. Q36: チームで [Google Workspace / Microsoft 365] を使う連携作業はどの程度うまくいっていると感じますか。
- まったくうまくいっていない
  - あまりうまくいっていない
  - ある程度うまくいっている
  - とてもうまくいっている
28. Q42: [Google Workspace / Microsoft 365] のツールを使ってリモートワークをする期間、チームはどの程度生産的ですか。
- リモートワークをしていない
  - まったく生産的ではない
  - あまり生産的ではない
  - やや生産的
  - とても生産的
29. Q40: 次のうちどの作業をスマートフォンやタブレットで日常的に行っていますか。該当するものをすべて選択してください。この質問は [Google Workspace / Microsoft 365] のアプリのみについてお答えください。
- メールのチェック
  - メールへの返信
  - ドキュメントのレビュー
  - スプレッドシートのレビュー
  - ドキュメントの編集
  - スプレッドシートの編集
  - 他の従業員へのフィードバック
  - 会議のスケジュール設定
  - 会議への参加
  - 上記のどれでもない
30. Q41a: 次のデバイスをどのくらいの頻度で仕事に使用していますか。スマートフォン
- 頻繁に使用する
  - わりと使用する
  - あまり使用しない
  - まったく使用しない
31. Q21: 次の記述について、どう思われますか。「ドキュメントを作成する際は、[Google Workspace / Microsoft 365] を使用してリアルタイムで共同作業することがチームの標準となっている」
- まったくそう思わない
  - あまりそう思わない
  - ややそう思う
  - とてもそう思う
32. Q19: チームでの作業は主にどのように進めていますか。
- 1つのドキュメントを一人で作成し、次の人に渡す
  - 同じドキュメントに対して同時に作業する

## 付録 D: Quadrant Strategies について

### Quadrant Strategies について

**Quadrant Strategies** はリサーチ主導型コンサルタント会社です。Fortune 100 企業、主要 NGO、問題提議団体がその顧客やステークホルダーの行動原理を把握できるよう支援します。当社の専門は、企業や組織がターゲットとする顧客の意思決定の核となる促進要因を発掘し、それに関与するよう支援することです。入念なリサーチにより、企業が大切な人々と本物のコミュニケーションをするための戦略と戦術を構築します。

当社には明確な創業理念があります。それは、クライアントが十分な情報に基づいて効果的な意思決定を行うには、ターゲット層とそのニーズや認識を真に理解する必要があるというものです。当社のパートナーは、過去 20 年にわたり、Fortune 50 企業の半数以上の企業にアドバイスを提供してきました。当社は、従来の市場調査会社とは異なり、データの山を提供するのではなく、明確で実用的なアドバイスを提供します。創業以来、業界全体を凌駕するスピードで毎年一貫して成長を続けており、Inc. 誌の 2021 年版の米国で最も急成長している企業リストにランクインしました。